

経済・金融フラッシュ

No.07-084 2007/10/11

9月マネー関連～貸出は2カ月連続で伸びを高める

ニッセイ基礎研究所 経済調査部門 シニアエコノミスト 矢嶋 康次

TEL:03-3512-1837 E-mail:yyajima@nli-research.co.jp

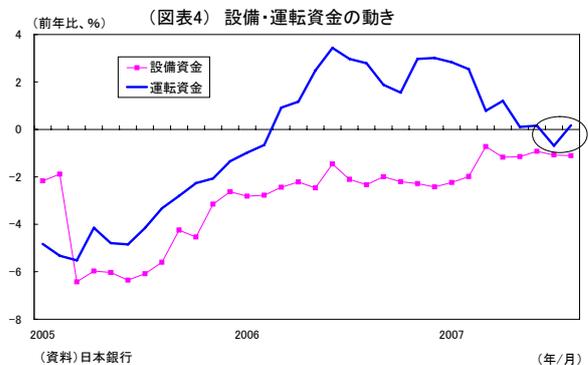
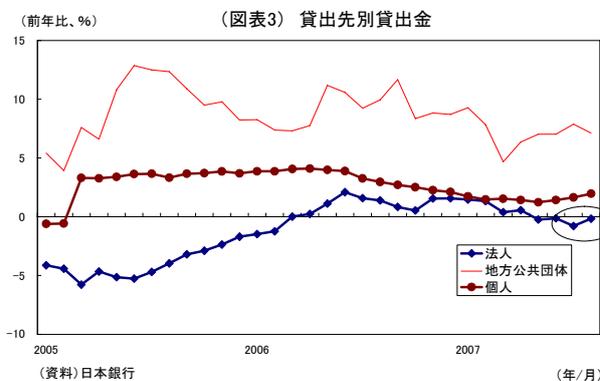
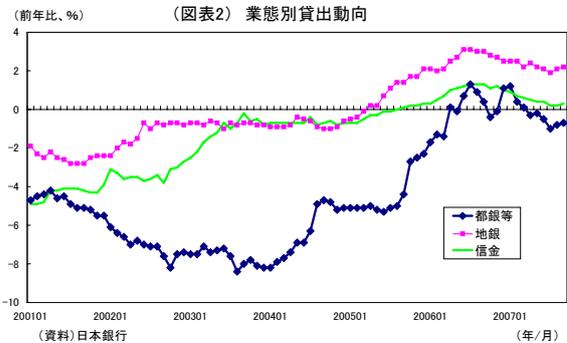
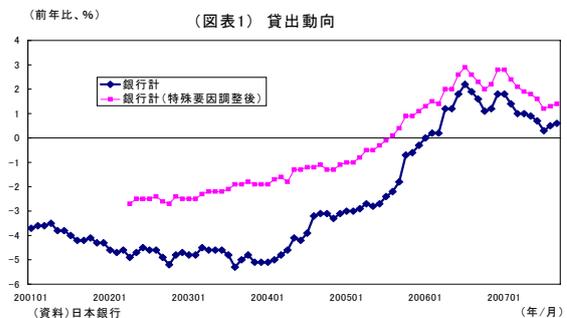
1. 貸出動向：2カ月連続で伸び率を高める

日本銀行が10月11日に公表した貸出・資金吸収動向等によると、9月の総貸出（平残、銀行・信金計）は前年比0.6%と20カ月連続のプラスとなった。伸び率は2ヶ月連続上昇した（図表1）。

業態別では、都銀等は先月よりはマイナス幅を縮小させたが、同▲0.7%と6カ月連続で前年比マイナスが続いている（図表2）。

地銀は2%程度の伸びが継続、足元では2カ月連続で伸び率を高めている。

貸出先別貸出金（10/2日公表、8月分）を見ると、法人向け貸出は8月▲0.2%と4カ月連続でマイナスとなっている（図表3）。資金用途では、運転資金が8月▲0.7%から9月0.2%とプラスとなった（図表4）。



2. マネーサプライ、マネタリーベース：普通預金から定期預金シフト

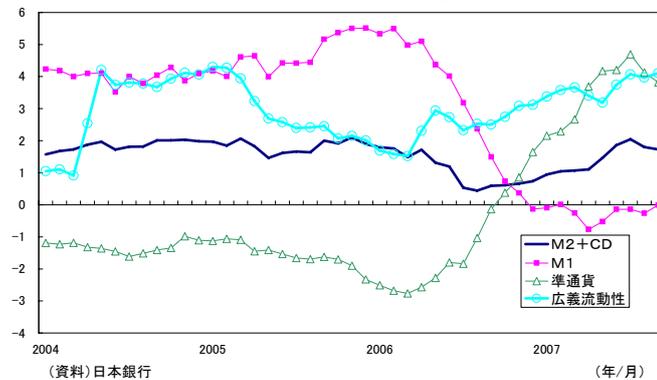
の動きが少し弱まる

マネーサプライ統計（10/11 日公表）によれば、9月のM2+CDは前年比1.7%と2ヶ月連続で伸び率が低下した（図表5）。

普通預金から定期預金へのシフトの動きが少し弱まっている。M1の減少がストップ（同▲0.0%）し、定期預金を含む準通貨は伸び率が低下した（8月4.1%→9月3.8%）。

広義流動性は、投資信託などの高い伸びから、M2+CDよりも高い前年比4.1%と、3ヶ月連続4%台の推移となっている。

（前年比、%） （図表5） マネーサプライの動き



9月分マネタリーベース（10/2 日公表）は、前年比0.7%と2ヶ月連続のプラスとなった（図表6）。

日銀券発行残高1.5%、貨幣流通高0.8%は比較的安定した動きとなっている。

当座預金残高は7月までは前年比2桁マイナスが続いていたが、8月▲4.1%、9月▲5.8%とマイナス幅が明確に縮小している。

（前年比、%） （図表6） マネタリーベースの動き

